

日本共産党 羽曳野市会議員団

平成27年度 (5億9726万円)
一般会計は約6億円の黒字

要求実現の財源はあります

市民から様々な要望が寄せられますが「財政が苦しい」という理由で、なかなか実現しないものもあります。しかし、市の財政は、10年来黒字が続いています。27年度の黒字分も基金に積み立て、財政調整基金が38億円、公共施設整備基金は11億円、合計49億円(平成28年9月現在)の積立金となっています。

このような財政状況を見ると、要望を実現していくための財源は、工夫をすれば生み出すことができます。

主な特別会計の決算

特別会計	実質収支
国民健康保険	2億6734万円の黒字
介護保険	2億9783万円の黒字
後期高齢者医療	5773万円の黒字

日本共産党市会議員団は、市民の要望を実現させるため今後も奮闘していきます。

平成27年度、みなさんと力を合わせ 実現した主な事業

子ども医療費の助成が拡充

子ども医療費助成は、平成27年6月から、小学校3年生まで、引き続き10月からは、小学校卒業まで助成が拡大されました。また、平成28年4月からは、中学校卒業まで助成が拡大され、子育て世代に大変、喜ばれています。この相次ぐ助成の拡大は、市民のみなさんが粘り強く、請願運動などで議会に働きかけてきた結果です。



学校施設の耐震化が完了

平成27年度は、古市南小学校、高鷲中学校などで耐震補強工事が実施され、市内学校施設の耐震化が完了しました。今後は、災害時に避難所となる体育館の非構造部材(天井や照明器具など)の耐震化を進めていくこととなります。



市立高鷲中学校

中央スポーツ公園が整備

植生小学校跡地に、中央スポーツ公園が建設されました。サッカーの公式試合ができる広い公園です。

公園内には、遊歩道や健康器具なども設置されました。今後は、市民が、気軽に散歩したり、遊んだりできる憩える公園にしていく必要があります。



駅ホームドア設置で安全対策を要望!

日本共産党市会議員団



市民とともに近鉄に要望伝える若林市議

市議会で

駅ホームからの転落事故は、駅ホームドアがあれば防ぐことができます。羽曳野市としてホームドアの設置にむけ近鉄と協議すべきと質問しました。市は「設置の重要性は認識するが、企業が主体的に対応するもの」と言うだけで協議する考えがありません。これまで駅舎改善など近鉄と協議してきていることを忘れたのでしょうか。市民の命と安全をまもる自治体として、近鉄との協議を始め、ホームドア設置の要望をしていくべきです。

近鉄電車にも

党市会議員団は、近鉄電車にもホームドア設置に向けての懇談を行いました。

近鉄は「その他の企業とも連携し、技術的な研究を重ねる努力をしている。どの駅から先行していくか、乗降客数などを考慮して検討を進めている」と答えています。

党議員団は、この間、ホームドアの設置に対し、要望してきました。

当初の「検討していない」という回答からみれば、大きく前進してきています。今後も安全対策や駒ヶ谷駅無人化対策などで懇談を続けていきます。

市民の安全守り、暮らし・福祉、教育充実の羽曳野に



2016年9月
 羽曳野市議会